

日本一のおそば

福井県福井市
麻生津小学校・5年
廣瀬穂波美

私のひいおじいちゃんは、おそば屋さんです。母の生まれるずっと前におそば屋を始めました。30年以上前に福井国体の開会式に昭和てんのうがお見えになったときに、おそばを献上したそうです。そのときはとても名よなことだったとよく話してくれました。

そんなひいおじいちゃんは、1年前に亡くなってしまいました。亡くなる2年前に病気になる、入院したりたい院したりしていましたが、たい院しているときは、どんなにつらくても、毎日そばを打っていました。病気をしても、ひいおじいちゃんのそば打ちははく力があって、そば打ちの中では声がかけれないぐらいでした。今、おそば屋さんは、私のおばあちゃんの弟がそばを打っています。たまに、おそばをふむお手伝いをさせられます。そばをふむのも、コツがあつてむずかしいです。母も店を手伝っています。母は、おばあちゃんの弟から、そば打ちを教わっています。母はときどき、ひいおじいちゃんに、もっとそば打ちのいろいろなことを習っておけばよかったと言っています。そんな母を見て、私もひいおじいちゃんにそば打ちの道具やそば打ちのコツを聞いていたら、もっとたくさん店のお手伝いができたらうなと思いました。

日本には、たくさんのおそばがあります。私は、ひいおじいちゃんのおそばが一番好きです。これから、母にがんばってもらって、ひいおじいちゃんのおそばをたくさん作ってもらいたいです。お母さんが、ひいおじいちゃんのおそばを作れるようになったときは、いっぱいお手伝いしたいです。

小学生優秀賞